団体インタビュー（幕張ベイタウン女子部）

１　日　時　平成２８年2月１７日（水）１０：００～１１：２０
２　場　所　地域連携センター
３　対象団体　幕張ベイタウン女子部　７名
４　インタビューの結果
（１）活動を始めようと思った理由・きっかけは？
・　個人でお店を経営しており、女性の意見を聞く機会が多く、それが女子部を立ち上げたきっかけ。初めてまちのことを考えるようになり、まちがどうやってできたのか、自治会の活動などを知るようになった。
・　ボランティアやコミュニティカレッジで学んだ経験があった。以前住んでいたまちは住民のまちへの想いが強い地域だったが、千葉市に来たとき、まちへの想いが弱いなと感じた。ベイタウンはまちへの想いが強い地域。
・　地域イベントのスタッフや、ＮＰＯのワークショップに関わってきた。子育てが一段落し、若いお母さんたちと一緒に何かしたいと思い女子部に参加した。
・　仕事をしていたときは、地域のことはわからなかった。起業に向け会社を辞めたとき、地域でいろんな活動が行われていることを知った。働く世代に向けてそれを発信していきたいと思った。イベントを実施しようとなり、１回きりで終わりにせず、２年前に女子部を作ろうとなった。
（２）ベイタウン女子部の活動
・　女子部はママ友の集まりではない。まちに対し想いを持っていて、賛同してくれる人が集まっている。地域のためにできることをやっていこうという考え。
・　ベイタウンには様々なコミュニティーがありそれぞれが想いを持って活動している。それらが共存できたらと思っている。
・　地域でいろんなイベントを行っているが、正直、興味の持てるイベントが少なかった。女性目線でのイベントが必要と思った。
・　地域活動はボランティアでは継続しない。ＨＰやフェイスブックを活用し、協賛金を頂くなどしている。
・　イベントをやろうとなると費用がかかる。冊子を作って広告料を取るなど、いろんなアドバイスを受け、資金を集めた。
・　補助金の制度も知り、美浜区地域活性化支援事業補助金に申請しプレゼンを行ったが、（部を立ち上げたばかりで）事業計画に具体性がないという理由で、不採択だった。でも結果として、補助金に頼らずにイベントを実施できてよかったと思う。
（３）市にサポートしてほしいことは？
・　何かしてほしいということはない。自分たちで仲間を作ってやっていこうという考え。

・　市には、イベントの後援をいただいており、ありがたい。市の後援があると箔がつく。
・　しかし、地域住民の中には、市の後援があるとお金をもらっているんでしょと否定的な目で見る人もいる。また、イベントを実施してお金儲けしているんでしょという人もいる。
・　市への寄付について、目的を指定しての寄付ができるといい。
・　例えば、街路灯の電球を取り替えてほしいときに、市の担当者から、ここから先の街路灯は管轄が違いますからという対応をされることがある。そうではなくて、管轄がどこなのか、連絡先はどこかといった情報を提供するなど、歩み寄りできるといい。
・　ベイタウンコアを女子部で単発のイベントで利用しようとしたが、登録には、年間計画書が必要などと言われ、結局断念した。もっと簡単に利用できるといい。

（４）自治会連合会等とのつながり

・　活動を始めてみて、自治会連合会や商店街振興組合の協力がないと、イベントの場所すら借りられないことがわかった。そのとき、先人の努力があってまちが作られたことを知った。
・　自治連の会議に出席したり、地域内で行われるワークショップ等にも声をかけられれば、なるべく参加するようにしている。どこかの組織に属するというよりは、地域の中で横のつながりをつくっていきたいと考えている。

（５）その他

・　まちのことについて話し合う座談会のようなものがあるとよい。
・　地域に関心を持つ人がどれだけいるか？子育て真っ最中の世代は、地域のことまで考えられない。
・　最近はＳＮＳなどの普及により以前より情報が入るようになった。
・　共働きの子どもを持たない夫婦の意見を聞いてみてはどうか。
・　小中学生がいる家庭には、学校を通じて地域の情報が流れるけど、未就学児しかいない家庭には情報が届かない。